

Ⅲ 全体構想

Ⅲ

全体構想

1.都市の将来像

(1) 都市づくりの基本理念

香芝市総合計画では、以下のような香芝市の10年後のあるべき姿を掲げており、都市計画マスタープランにおいてはこの将来像を都市づくりの基本理念として、本市の都市づくりを推進するものとします。

香芝市は、住宅都市として良好な生活環境の中で発展してきましたが、少子高齢化や経済・産業の停滞、環境問題など、本市を取り巻く状況は厳しくなっています。

そのような状況を乗り越えていくために、「笑顔」と「元気」をキーワードとして設定し、将来に希望がもてるまちづくりを行います。

人が「笑顔」でいられるためには、緑あふれる住環境の中で、充実した教育、福祉及び子育て制度のもと、日々安心して、便利に暮らせることが必要だと考えます。

また「元気」であるためには、人が健康であることはもちろんのこと、まちの産業や地域コミュニティが活発であり、健全な行財政運営がされていることも欠かすことができません。特に人と人とのつながりや支え合いが重要であり、これを本市の一番の財産とした活力あふれるまちづくりが必要だと考えます。

このようにみんなが笑顔で、人もまちも元気であることにより、これからも「住み続けたい」、「住んでみたい」と思えるまちとなることをめざし、

「笑顔と元気!! 住むなら かしぼ」

を将来像とします。

(2) 都市づくりの目標

本市の都市計画マスタープランにおいては、この将来像を基本理念とし先に整理した「住宅都市としての魅力を高める視点」「都市の自立性と拠点性を高める視点」「生活基盤の質を高める視点」といった都市づくりの3つの視点も踏まえ、以下に示す目標を掲げその実現に向けて市民とともに取り組んでいきます。

1) 地域資源を生かした誇りと魅力ある都市づくり

- 本市は二上山を地域のシンボルとして良好な自然環境を有しています。これら自然環境は、市民に安らぎを与えると同時に大気の浄化など健全な都市環境を形成していく上で大きな役割を果たすものです。これら景観を保存し活用するとともに、都市活動における環境負荷の軽減などを図ります。
- 本市には数多くの歴史遺産が分布しており、これらの保全・活用により個性的でうるおいのある地域環境を形成するとともに、歴史文化と調和した都市景観を形成し、住宅

Ⅲ 全体構想

都市としての魅力を高めていきます。

- 市内に8つの鉄道駅を有し、西名阪自動車道のI Cの他、国道165号、168号、中和幹線などの幹線道路が市内で結節しており交通の要衝となっています。今後は鉄道駅周辺を地域の拠点として効率的に都市基盤の整備を行い、幹線道路沿道では商業施設などの誘導を見据えた地区計画や総合公園の整備などを推進することで賑わいのある町なみや良好な景観を創出し、近隣都市から市内への来訪者のゲートとしての顔づくりを進めます。
- これらの優れた地域資源を十分に活用しつつ、新たにまちの誇りとなる魅力整備を進めることで、観光をはじめとした交流人口の増加や地域住民の利便性の向上を図っていきます。

2) 活力とにぎわいのある計画的な都市づくり

- 本市は大阪都市圏のベッドタウンとして発展してきており、今後もしばらくの間は人口増加が見込まれています。しかし、全国的な人口減少・高齢化の中で無秩序な市街地の拡大は、行政コストの増大や中心市街地・拠点の求心力低下につながります。こうしたことから、市街化区域内では、未利用地の有効活用を図り地区計画等により、ゆとりある居住地域の形成や商業施設を集約的に誘導し、良好な市街地環境を保全することで、定住人口の維持・増加を図っていきます。
- 市街化調整区域では、良好な自然環境に配慮しつつ既存の集落地のコミュニティの維持を図り、新たな開発行為については地区計画制度等を活用した計画的な土地利用の推進に努めます。
- 幹線道路で囲まれ主要な鉄道駅であるJR香芝駅・近鉄下田駅及び近鉄五位堂駅周辺は、拠点性の高い地区であることから、駅のバリアフリー化や駅前広場の整備をおこない、周辺道路及び歩道の拡幅を進めます。
- 公共施設などは今ある資産を最大限に活用し、将来にわたる財政面での持続可能性を確保するとともに、中心市街地や地域の拠点に効率的な公共投資を行い、鉄道・幹線道路とも連携したコンパクトシティの実現を目指します。

3) 安全で快適な生活基盤の充実した都市づくり

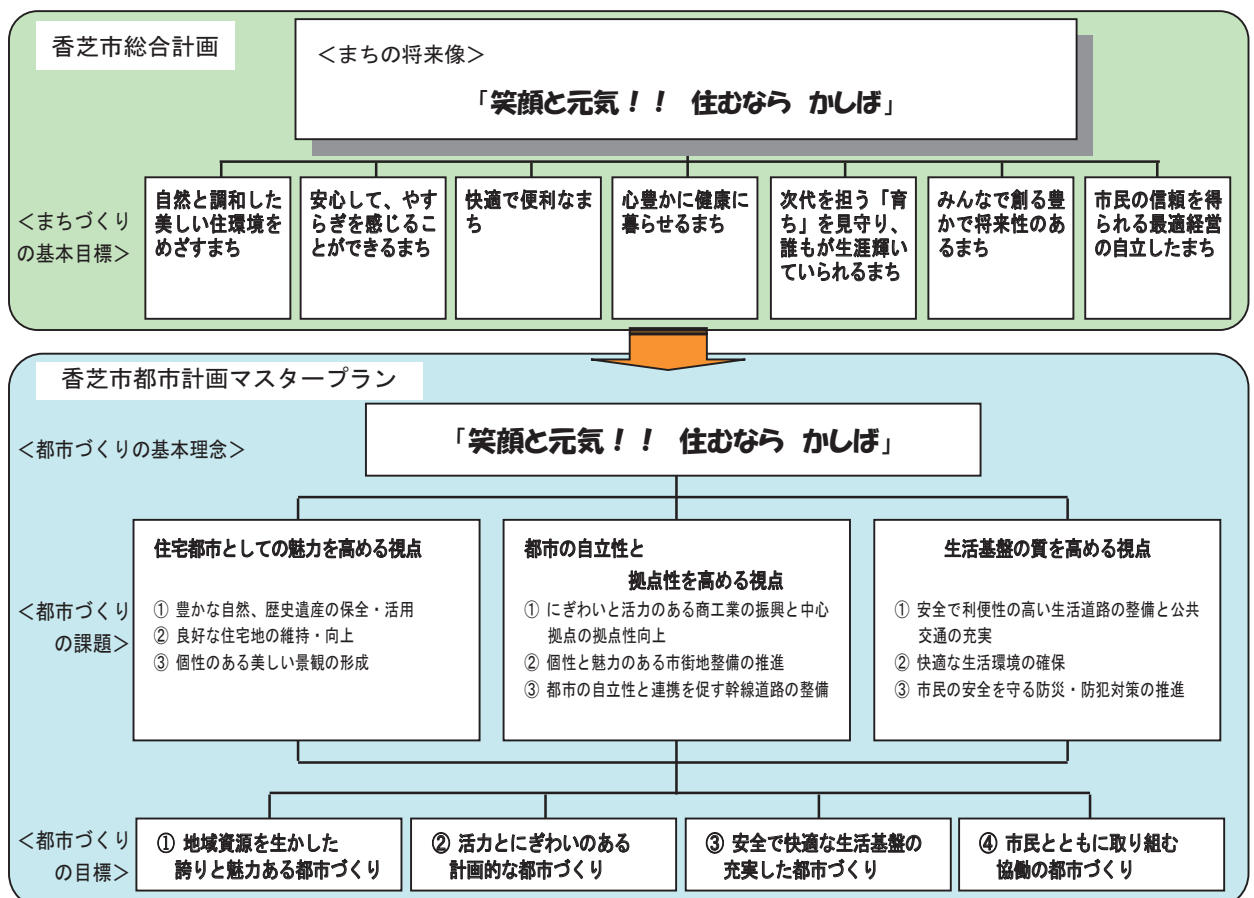
- 本市の国道、県道における歩道設置率は低く、古くから形成された市街地などの生活道路は幅員が狭いため、住民からもその改善が強く求められています。高齢者や障がい者をはじめとして誰もが安心して移動でき、車いす、自転車、公共交通で安心して出かけられるバリアフリーのまちづくりを展開していくため、道路環境などの向上に努めます。また、身近な公園や下水道などの整備を推進するなど生活基盤の向上に努めていきます。
- 今後大量に発生することが予想されている既存の公共施設の改修や更新に対しては、厳しい財政環境下での効率的な取り組みを行うことにより、行政サービスの向上に努めていきます。
- 安心して子どもを産み育てられ、高齢者や障がい者などが安心して生活でき、病気になっても近くの病院で十分な治療が受けられる福祉医療施設の充実など、安心できる生活基盤の向上に努めていきます。

- 地震や水害などの災害に強く、防犯面でも安全なまちづくりを進めていくため、防災・防犯対策の充実を図るなど、安全な生活基盤の向上に努めていきます。

4) 市民とともに取り組む協働の都市づくり

- まちづくりには、地域の団体・NPO・民間企業等の多様な主体が関わっており、大きな役割を担っています。円滑にまちづくりの施策を進めていくためには、それぞれの主体が主役になって持続的に活動していくことが重要となります。
- 住民の価値観やライフスタイルの多様化に伴い住民の合意形成が困難になってきています。しかし、地域に根ざした良好なまちづくりのために合意形成は必要不可欠であり、多様な住民参加の仕組みを活用して合意形成を図っていきます。
- 香芝市の特徴として古くからの住宅地・経済成長期に整備された住宅地・近年開発された新しい住宅地など様々な年代の街並みがあり、地域ごとに異なる問題を抱えています。地域の特性や実情に応じたきめ細かい施策の推進のために、まちづくりを担う様々な主体と行政が連携し、住民主体のまちづくりを支援する仕組みや環境の構築を図っていきます。

図 都市づくりの将来像、都市づくりの目標の設定



2. 将来人口

(1) 将来人口の基本的考え方

我が国の社会経済情勢をみると、著しい少子・高齢化の進行とともに、人口減少社会が到来しようとしており、これまでの都市が拡大する都市化社会から、都市が成熟した都市型社会への取り組みが求められています。また、高齢化に伴い、社会的な活力の低下等が懸念されているとともに、若い世代が他地域に移住し高齢者世代が中心となる住宅団地への対策などが課題となっています。

一方、本市は大都市近郊の地理的条件と交通網の発達により、昭和40年代には経済的な発展期を迎え、昭和50年代には大阪都市圏のベッドタウンとして、大規模住宅団地などの住宅開発により人口は急増し、今日においてもその傾向は続いています。全国的に都市化が終息しているなかで、本市においては、今なお発展・拡大する都市化傾向への対応が必要と考えられます。

しかしながら、若いファミリー層の転入が続いている状況等から今後も当分の間、人口増加が続いていくものの、徐々に転入人口は落ち着きをみせ、さらに、全国的人口減少の影響や都心回帰現象、さらには成長した子どもたちの転出傾向などにより、減少に転じていくことも考えられます。

人口の減少は、本市の活力や地域コミュニティの弱体化等を招くおそれがあります。そのため、都市型社会の形成を睨みつつ、現在の都市化傾向に対応していくなど、本市特有のバランスのとれた都市の魅力の持続・発展に努めていくことにより人口流入を促し、また流出を抑制することが重要です。こうしたことから、本市の目標人口という視点を踏まえて将来人口を設定することとします。

(2) 将来人口の設定

本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所によると、今後も人口増加が見込まれるものの、2035年の約81,000人をピークに人口減少に転じることが推計されています。

こうした今後の人口減少に対応するため、本市では「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口ビジョンの目標とそれに向けた総合戦略を定めています。また、ここで掲げた人口の目標値については、同時に策定した本市の第4次香芝市総合計画後期基本計画にも位置づけています。

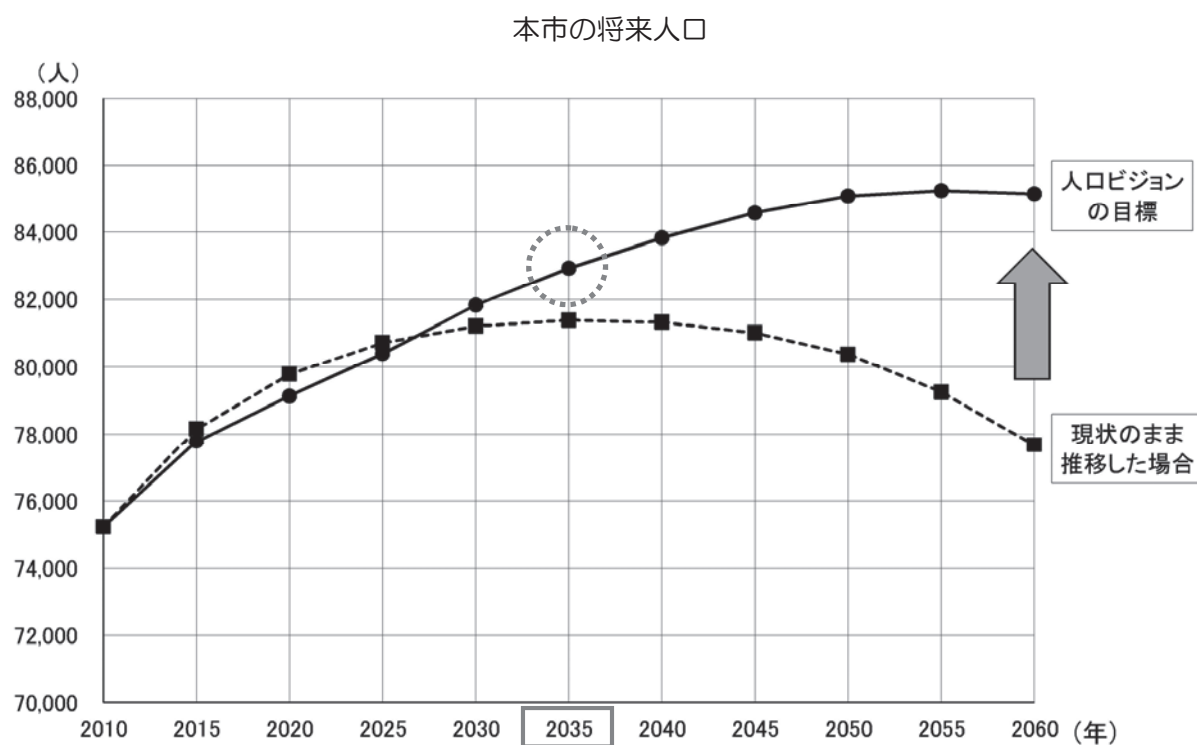
人口の将来を展望するにあたっては、「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において位置づけられた人口維持のための各種の施策の効果を見込み、市として目指すべきビジョンとしての人口推計を行っています。

人口ビジョンの考え方の詳細については、自然増減と社会増減のうち、自然増減では合計特殊出生率が2025年までに1.8、2030年までに2.1に回復すると仮定し、社会増減では2005～2010年の純移動率が2015～2020年までに定率で0.5倍縮小し、その後はその値で推移する（社会増を維持する）と仮定し、2060年に人口約85,000人の人口規模を維持することを目指しています。

Ⅲ 全体構想

都市計画マスタープランが前提とする将来人口は、この人口ビジョンの目標を踏まえ、本計画が展望する概ね20年後となる2035年に約83,000人として設定します。

また、全国的に人口減少が進行する中、本市においても予想より早く人口減少社会が訪れる可能性もあります。その動向によっては、計画事業や成果を検証し、見直しを適宜行うなど、人口がどのように増減したとしても、柔軟に対応できる都市計画とする必要があります。



(単位：人)

	2010 年	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年	2060 年
人口	75,229	77,780	79,137	80,398	81,835	82,933	83,833	84,575	85,083	85,242	85,147
伸び率	—	3.4%	1.7%	1.6%	1.8%	1.3%	1.1%	0.9%	0.6%	0.2%	-0.1%

3. 将来都市構造

(1) 将来都市構造の基本的考え方

将来都市構造は、基本理念に基づく都市づくりの目標を実現するため、都市の発展方向に対応する都市の基本的な姿を明らかにするものです。将来の土地利用や都市基盤施設などに関する都市整備の方針は、この将来都市構造を基本に設定します。

また、都市構造は、まちの中心づくり（拠点）、ネットワーク（軸）で構成します。「拠点」は都市機能などの集積を図り、その機能を効率的・効果的に発揮するものです。「軸」は拠点の集積や連携・交流などを誘導するものです。

本市においては、ＪＲ香芝駅、近鉄下田駅周辺の市街地を都市拠点、近鉄五位堂駅周辺の市街地をにぎわい拠点とし、その他拠点及び軸の連携により、コンパクトな都市の形成をめざすものとしします。

(2) 将来都市構造の設定

本市の将来都市構造は、その基本的な考え方を踏まえて、以下に示す５つの拠点、６つの軸を設定します。

1) 拠点

① 都市拠点

本市の中心核を形成し中心市街地となっているＪＲ香芝駅及び近鉄下田駅周辺においては、歴史遺産などの活用により、ゆとりと落ち着きのあるくらし拠点を形成するとともに、水と緑のネットワークの形成や安心・安全に過ごせるまちづくりを推進します。また、市役所周辺には、ふたかみ文化センター、総合福祉センターなどの公共施設が立地しており、今後もこれら行政、文化、福祉、商業などの機能の集積を進め、市民生活のサービスの充実と利便性の向上を図ります。

② 地域生活拠点

中心市街地以外のその他鉄道駅周辺地区は地域生活拠点として、駅へのアプローチを円滑化するため、歩行者、自転車空間及び駐輪場等の確保に努めるとともに、日常利便施設等の充実により地域の顔となる個性と魅力のある都市空間を創出します。

③ にぎわい拠点

近鉄五位堂駅周辺においては、商業・業務施設などの誘導・集積によりにぎわいのあるくらし拠点を形成するとともに、道路基盤の形成や安心・安全に過ごせるまちづくりを推進します。

④ 産業拠点

香芝ＩＣ周辺においては、広域交通基盤を活用した産業の育成など、都市の活性化を先導する拠点として、流通業務施設や商業施設などの立地を誘導します。

⑤ 緑の拠点

本市北部の香芝市スポーツ公園、西部の香芝総合公園、及びどんづる峯周辺、東部の高塚地区公園などの緑の拠点では、地域住民のスポーツなどの多様なレクリエーション活動や、自然などとのふれあいの場としてその充実に努め、人と人とのふれあいや人と緑のふれあいの核とします。

2) 軸

① 広域連携軸

本市及び奈良県の都市活動や産業活動を支え、広域的な交流を促す西名阪自動車道、中和幹線、高田バイパス線を広域連携軸とし、これら機能の強化や整備の促進などにより、都市の自立性や交流機能などを高めていきます。

② 地域連携軸

国道165号、国道168号などの主要幹線道路や、鉄道を地域連携軸とし、拠点をこれら連携軸でネットワークすることにより、均衡ある地域の発展を促進します。

③ 環状道路軸

中和幹線、高田バイパス、磯壁新在家線、香芝南廻り線により、中心市街地を囲む環状道路軸を形成し、中心市街地への通過交通の排除など、市街地内の円滑な交通処理を図ります。

④ シンボルロード軸

中心市街地周辺で結節する中和幹線、奈良西幹線などにおいては、本市のシンボルロードにふさわしい良好な景観と一体となった沿道整備を進めるとともに、周辺地区のまちづくりと併せて、適正な土地利用の整備・誘導を図ります。

⑤ 自然環境軸

本市西部に連なる金剛生駒山系の緑を自然環境軸とし、市民が身近にふれあえる貴重な緑の保全・活用を図ります。

⑥ 緑のふれあい軸

金剛生駒山系の緑や河川、ため池などの親水空間にふれあえる緑道（ハイキングコースなど）や、市街地内の自転車歩行者専用道路などによる緑のふれあい軸を形成します。

Ⅲ 全体構想

図 目標・都市構想体系



将来都市構造図

